

大阪市立 喜連東 小学校



住所 〒547-0021 大阪市平野区喜連東 2-2-17

連絡先 ☎ 06-6708-1300 📠 06-6799-0389

校長 木村 鑑廣 開校 昭和 46 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751733>

教育目標

感じ、考え、確かめて、豊かに表現しようとするを通して、共に分かり合い、高め合う子どもを育てる。

重点目標

「変わる」「変える」をキーワードに、学校共同経営を推し進める。

教育方針

- 感じ、考え、表現する子どもを育てる
- 自分も、みんなも思いやる子どもを育てる
- すこやかで、たくましい子どもを育てる

運営に関する計画

【概要】

- 児童の自己肯定感、自尊感情を高めていく。
- 児童の規範意識を高める。
- たてわり班活動を実施し、上の学年の児童が下の学年の児童を思いやる気持ちを醸成する。
- 児童たちの運動することへの意識を高め、体力の向上を図る。

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 年度内の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分に良いところがあると思いますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 学校アンケート調査における「学校のきまりを守っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率を大阪市平均と同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を使い、デジタル教材や家庭学習等を週数回実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間、1か月の時間外勤務時間が45時間以下の教員の割合を60%以上にする。

校長先生からのメッセージ

本校は、昭和46年に創設され、創立54年目を迎えました。現在、243名の児童が元気よく、のびのびと学校生活を送っています。

「にこにこ(心)いきいき(体)わくわく(知)喜連東」をめざし、教職員一同が「自分で考え自ら行動できる子」「互いに認め合い、高め合う子」の育成をめざし、一人一人の子どもを大切に元氣と意欲を与えられるよう、ほめることを中心とした教育を図っています。また、人格形成の基礎を培うため「自分」で「自分」を見つめる機会を設けたり、豊かな情操を養うために本物に触れる機会を設けたりしていきます。

学校のことを親身にご考えてくださる地域の方にもお世話になり、児童は健やかに成長しています。

これからも、学校・保護者・地域が、協力し連携し合い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

校長 木村 鑑廣

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
54	51	平均正答率(%)

●結果と概要／

令和6年度、国語については大阪市の平均正答率を12ポイント、算数については大阪市の平均正答率を11ポイント下回っている。平均無解答率は、国語・算数ともに大阪市平均の2倍以上である。「国語」は話す・聞く・書く力が低く、「算数」は文章題が苦手で、問題内容そのものの意味の理解が不十分であり、最後まで粘り強く考えられず途中であきらめてしまう傾向にあることが考えられる。令和7年度は、引き続き基礎・基本の学習の定着をめざし、学習嫌いな児童を減らし、学習に取り組む態度を育てるように取り組んでいく。

●取組の成果と課題／

〔国語〕多くの領域で10ポイント以上大阪市の平均正答率を下回っており、「読むこと」「書くこと」「聞くこと」など、基礎・基本の学力が定着しておらず、下回っている。問題文の内容を読み取り、「目的や意図に応じて、書いたり、考えたり、まとめたりすること」に課題が見られる。読み取る力を高めることで、わかる喜びを感じる機会を増やし、学習に前向きに取り組む態度を育てる。

〔算数〕多くの領域で、大阪市より10ポイント以上下回っている。学習のめあてを明確にし、問題解決型学習を進め、基礎・基本の学力の定着を図る。また、主体的・対話的深い学びを進めることで、わかったと感じる場面を増やし、学習嫌いな児童を減少させる。

〔質問紙調査より〕

- ・「学校は楽しい」と感じている児童が多く、「人が困っているときは進んで助けにいけない」と優しく、温かい気持ちを持っている児童が多い。「友だちとの人間関係に不安を抱いており、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して肯定的な回答が低く、不安を持ちながら毎日を過ごしているように思われる。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と肯定的に答える児童の割合は100%で、友達を大切に思うしっかりとした考えを持っている。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」と生活習慣は整っておらず、自己肯定感の低い回答が多い児童が多くみられる。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.78	20.50	32.25	44.96	47.83	9.80	149.56	21.34	53.27
女子	15.06	20.24	27.67	39.32	33.67	10.27	139.86	12.78	48.84

●結果と概要／

男子	○	上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、ソフトボール投げの4種目が全国平均を上回っている。
	●	長座体前屈・立ち幅とびの2種目が全国平均を下回っている。
女子	○	上体起こし、反復横とびの2種目が全国平均を上回っている。
	●	握力など6種目が全国平均を下回っている。

●取組の成果と課題／

児童が自由に遊べるように、朝・放課後・休み時間の確保に努め、学級での「みんな遊び」の推奨で、全員が体を動かす場を設けている。男子は、全国平均を上回っている種目が多く、体力合計点も全国平均を上回っていた。それに対して女子は、全国平均を下回っている種目が多く、体力合計点も全国平均を下回っていた。ほかの種目に比べて立ち幅とびで下回りが目立っている。男女ともに、走・跳・投と基本的な動きを高め、個人差の開きを縮めることが課題である。今後は、積極的に体を動かし、運動が好きな児童を増やしていくとともに、体力強化をねらいとした取り組みをしていくことも必要であると考え。

学校の特徴

異学年交流を通じた仲間作りを進める

本校では異学年交流をすすめるための取り組みを、年間を通じて行っています。

【主な交流活動一覧】

	交流学年	内容
1 学期	1-2年 1-5年 1-6年 全学年(たてわり班)	学校たんけんの案内役 給食運搬のお手伝い 掃除のお手伝い わくわく文化祭(コーナー遊び)
2 学期	1-2年 2-4年	スイートポテト・パーティー タブレットの使い方
3 学期	1-2年	おもちゃランド(コーナー遊び)

読書にもっと親しもう! ～読書活動のさらなる推進に向けて

平成29年度から平野区内の各小学校で始まった読書週間の定着に向けた取り組み「ひらちゃん読書ノート」の活用をさらに進めていきます。

令和4年度は、平野区から表彰を受けた児童が本校から約100人出ました。前年度は100人に到達することができませんでしたが、今年度は受賞児童が100人以上になるよう、学校司書やサポーターさんたちの支援を受けながら、図書委員による図書室開放を行っています。「読書月間」など、図書委員会の活動を工夫して実施し、児童たちが本と楽しく触れ合える機会を多くするようにしています。

